

（仮称）津市こども計画に係る意見聴取の結果について

こども基本法（第 11 条）では、こども施策を策定、実施、評価するとき、こども・若者、子育て当事者等の意見を反映するために必要な措置を講ずることを国や地方公表団体に義務付けており、「（仮称）津市こども計画」の策定においても、令和 6 年 1 月から 5 月末に向けてアンケート調査を実施し、その意見の概要は次のとおりです。

1 市内の短大・大学（三重大学、三重短大、高田短大）、高等学校（津高校、久居農林高校）

学校	方法	回答者数
三重大学	大学からメールで学生へ送信 R6.2 月	165
高田短大	授業で学生に紙チラシを配布 R6.1 月	228
三重短大	短大からメールで学生へ送信 R6.2 月	128
津高	ホームルーム等で学生へ配布（2 年生が対象）R6.3 月	150
久居農林	ホームルーム等で学生へ配布（2 年生が対象）R6.3 月	163
その他		35
合計		869

アンケートの方法

QR コードを記載したアンケート調査チラシを紙、又は電子媒体で配布し、QR コードを通じアンケートフォーム（Logo ホーム）へ進み、インターネット上から回答する方式。

意見の概要（自由記述意見）

【質問】どのような取組があれば、結婚したいと思う人が結婚できる社会になると思われますか（複数回答） 回答者 143 人

【回答】

○若者の可処分所得の増加 18 件（意見全件数に対する割合 13%）

- ・給料上げる
- ・安定した雇用と賃金
- ・納める税金を必要最低限にし、個人で自由に使えるお金を増やすこと
- ・経済的な安定や精神的な支援を提供し、結婚に必要な条件を満たすための環境を整えること

○結婚（生活）に対する経済的支援 29 件（20%）

- ・経済的支援
- ・結婚した場合、その後の経済的支援を行うような仕組み
- ・結婚に掛かる費用を負担する

○子育て支援の充実（経済的支援含む）19 件（13%）

- ・行政による子育て世代への支援の充実
- ・子育て環境の充実
- ・子供を育てやすくする社会保障の充実

○労働環境の改善 12 件（8%）

- ・休暇を増やし時間と余裕を作る
- ・仕事に時間を取られて婚活する時間がない人が多いのではないかとというイメージがあるため、時間の確保
- ・仕事の効率化や休暇の取り方を改めて見た方が良いと思う

○出会いの場の創出・結婚相談 27 件（19%）

- ・若者が出会う機会を増やす
- ・まず出会いの場
- ・地域の集まりや参加しやすい活動を増やす
- ・何かで出逢えば結婚するきっかけはうまれると思う

○その他 48 件（34%）

- ・同性婚と選択的夫婦別姓をはやく法制化する
- ・結婚をするメリットがわからない
- ・若者への結婚への悪いイメージを改善する
- ・自分自身の理想のキャリアと結婚が相反しないようによりキャリア設計などについて相談に乗ってくれる場所が必要ではないかと感じます

【質問】どのような取組があれば、こどもがほしいと思う人が希望することもの数を持てる社会になると思いますか。 回答者 167 人

【回答】

○子育て世帯の可処分所得の増加 25 件（15%）

- ・経済的な支援、インセンティブ、減税
- ・実質賃金の引き上げ
- ・収入をあげたり、金銭的な援助があればいいとおもう
- ・育てられる環境（経済的理由や治安）が整備されていれば子供を持ちたいと考える人が増えると思う

○子育てへの経済的な支援 66 件（40%）

- ・子育て世代に対する金銭的支援制度

- ・育児、教育費の補助
- ・子育てに関わる全ての費用の無償化
- ・教育費や学校に行くための交通費を無償化する

○子育て支援・教育の充実 56 件（34%）

- ・金銭面以外の子育て支援を充実させること
- ・実際の教育現場がお金以外で充実していれば、ぜひそこで子どもを育てたいと思う
- ・行政の育児支援・教育支援
- ・教育育児の支援の拡大

○労働環境の改善 13 件（8%）

- ・育休・産休を取りやすい世の中にする
- ・子育てと仕事を両立できるような柔軟な働き方（短時間勤務や空気感）が可能になるような施策
- ・育休の期間を長くする、復職してからも仕事を今までと同じように続けられる

○子育てへの意識の変化 11 件（7%）

- ・子供がいる生活が楽しいということをわかる社会にしないと難しい
- ・10 代や 20 代の若い世代の人達に、子育てや結婚に対して身近に触れて考える機会があれば、より現実的に感じるのではないかと思う
- ・泣き声を気にしない環境

○その他 27 件（16%）

- ・こどもが欲しい人同士でマッチングをする
- ・出産はするものという社会的認識の再興
- ・事実婚でも使える制度を増やす
- ・受験戦争や学歴社会などスパルタ教育の是正
- ・住民による相互支援
- ・もっと国民の生活が豊かになるような取り組みをした方がいいと思います

【質問】 こどもが健やかに暮らせるための取組として、自分が小学校・中学校・高校に通っていた時代にどのような取組があれば良かったと思いますか
回答者 108 人

【回答】

○経済的な支援に関する意見 17 件（16%）

- ・高校生まで医療費無料があれば良かったと思う
- ・部活など、お金がかかるスポーツや趣味を親の経済的事情に配慮せず取り組める支援

- ・高校まで学費(給食費含む)無料

○公園、こども食堂、自習室などの居場所 15 件 (14%)

- ・小学生時代は球技が好きだったが公園ではどこも狭く道路にボールが飛んで行ったため、高いフェンスで囲まれていれば良いと思っていた
- ・お金のかからない自習室的な環境がある、作る。塾の自習室や図書館を使うのも手だが、遠かったらお金がかかったりで行きにくかったため
- ・放課後に自由に集まったり遊んだりできる安全な場所
- ・無料で安全に遊ぶ場所がある・無料で勉強できるところがある

○IT 化 4 件 (4%)

- ・出席停止や学校に行けない体調不良や怪我の場合でも授業についてこれるようなりモット授業のしくみ
- ・不登校や何らかの理由で出席出来ない児童・生徒でも授業を受けたり単位を取得したりできるように、デジタル技術を駆使して遠隔で出席したり授業を受けたりできる仕組み
- ・心の悩みを自由に匿名で入力して相談出来るアプリ

○いじめ対策強化 8 件 (7%)

- ・いじめの対策や適切な対処
- ・いじめられている子を助ける取組
- ・いじめをなくすための授業やいじめについてみんなで考える場面を預けるなど

○その他 68 件 (63%)

- ・シャトルバスの運営
- ・違う年齢層との交流(小学生が中学生と一緒に地域学習等)、自然に触れる体験
- ・飛び級制度が欲しかった
- ・地域で行われている産業について学ぶ機会や、大学生のような近しい立場の人と関わる機会があると、自分の将来について想像しやすそうだと感じました
- ・通う学校を自由に選択できること
- ・自分からカウンセラーの所へ行くのは少々勇気がいるので、定期的に生徒全員がカウンセラーと話をできる時間を設けてほしい

【質問】若者やこどもが自宅・学校(大学を含む)・職場以外に過ごす場所として、どのような場所があれば良いと思いますか 回答者 125 人

【回答】

○公園・スポーツ施設 37 件 (30%)

- きれいに整備された公園
- 屋内運動場
- 近くに体育館や公園などの遊びに使える施設があること

○ショッピングモール・飲食店 30 件（24％）

- 駅近のおしゃれなカフェ
- テーマパーク、ショッピングモール
- 映画館やショッピングセンター、飲食店などが増えたらいいと思う

○学習・作業できる場 23 件（18％）

- 塾でもなく学校でもなく自習することができる場所があったらいいと思う
- 少し賑やかに自由に勉強ができるスペース。公民館とか
- 市民センターのような地域の施設で勉強スペースや子どもが遊べる場所
- 交通の便が良く、静かに勉強できる場所

○こどもが集える場所 23 件（18％）

- 近所の駄菓子屋のような憩いの場
- 子どもからお年寄りまで、近所の人たちが気軽に集まっておしゃべりしたりお茶を飲んだりできる自由な場所
- 公民館などみんなで集まって遊べるところ
- 学校や仕事のことを考えずに色々な人と交流できる場所

○その他 43 件（34％）

- 科学館や動植物園のような若者のもつ知的好奇心を体験で活性化させられる施設
- ボランティアの場所
- 落ち着いて誰にも見られずに自由にできるところ
- 屋内で自由に過ごせる場所や安く遊べる場所が多かったら楽しいと思う
- メンターの存在が常駐している、悩み相談室等

2 令和5年度開催の「20歳の集い」

20歳の集いの配布物にアンケート調査チラシを印刷し、参加者へ配布。

QRコードを通じアンケートフォームへ進み、インターネット上から回答する方式。参加者 2011 人中、回答者は推計で約 20 人

※意見概要については、上記 1 と一括集計になったため、1 を参照

3 市内の公立小中学校、義務教育学校

市内の市立の小学校48校、中学生19校、義務教育学校1校に小学校6年生と中学校3年生の全生徒を対象として令和6年5月末までにアンケート調査を実施。

上記の方法により、小学校6年生 2,060 名、中学校3年生 1,591 名から回答。

アンケートの方法

アンケート方法は、QRコードを記載したアンケートチラシを各学校で配布し、各児童・生徒のタブレットを活用し、インターネット上から回答するもの。

自由記述による「津市がどんなまちになってほしいか」についての意見の概要は次のとおり。

意見の概要

【質問】津市では、みなさんがおとなになっても津市に住みつづけたいと思う街となることを目指しています。津市がどんな街になってほしいと思いますか。

【小学生回答】回答者 1828 人

○いじめ・差別がないまち 257 件（14%）

- ・差別、いじめがなく安心して楽しく過ごせるまち
- ・学校でのトラブルがないまち
- ・年齢、障がい者、外国人、すべての人が平等であるまち

○犯罪・事故がない治安の良いまち 384 件（21%）

- ・犯罪がない安心、安全なまち
- ・暴力、喧嘩のない平和なまち
- ・道路の白線が消えていて危ないから直して交通事故のないまち
- ・虐待のないまち
- ・ルール、マナーを守るまち

○買い物・交通が便利で発展したまち 199 件（11%）

- ・都会のように沢山の遊ぶところやお店があるまち（飲食店・映画館・ショッピングモール他）
- ・駅前が活気づくような交通の便がいいまち
- ・商店街が栄えてるまち
- ・新幹線のような便利な交通機関があるまち

○自然豊か・環境にやさしい・きれいなまち 417 件（23%）

- ・自然豊かな（海や山がたくさんある）、きれいなまち
- ・ポイ捨てがない、ごみが落ちていないまち

- ・自然環境を破壊しないまち
- ・公共トイレを増やす、きれいにする

○公園・スポーツ施設など遊べる場所やこどもの施設があるまち 224 件 (12%)

- ・スポーツ施設や大きな公園(大人もこどももゆっくり過ごせる)が近くにあるまち
- ・こどもが遊びに行ける場所がたくさんあるまち
- ・図書館がもっとあるまち
- ・テーマパークのあるまち
- ・公園に遊具がたくさんある

○防災が進んだまち 22 件 (1%)

- ・災害時に安全に避難できる場所があるまち
- ・災害時助け合えるまち

○このままでも良い 47 件 (3%)

○安心・いいまち・暮らしやすい・住みやすい・居心地がいい 399 件 (22%)

- ・安心して、過ごしやすい(住みやすい)まち
- ・誰にでも優しいまち、助け合いのあるまち
- ・人に優しくできるまち
- ・みんなが仲良く暮らせるまち(喧嘩のないまち)
- ・思いやりのあるまち
- ・心豊かな人がいるまち

○明るい・元気・楽しいまち・笑顔で暮らせる、仲良く・協力して暮らせる 342 件 (19%)

- ・明るく元気に楽しく過ごせるまち
- ・みんなが幸せに暮らせるまち
- ・楽しくて沢山のひとと仲良くなるまち
- ・子どもから大人まで元気に暮らせるまち
- ・笑顔で暮らせるまち

○その他 380 件 (21%)

- ・誰もが健康に暮らせるまち。
- ・お祭りなどのイベントがたくさんあり、観光名所をアピールできるまち
- ・海外や市外から人が集まるような魅力のあるまち
- ・嫌な事、悩み等が相談できる場所があるまち

- ・教育設備の充実
- ・（誰もが、気軽に）挨拶ができるまち
- ・歴史、伝統のあるまち
- ・子育て、子どもの教育がしやすいまち
- ・死にたいと思う子がいなくなるまち
- ・公園の周りに歩道があるまち
- ・ゆっくりすごせる場所（温泉や室内広場等）があるまち
- ・みんなが困らないまち
- ・動物とふれ合える、動物虐待のないまち
- ・図書館の本を増やしてほしい
- ・経済的補償がもっとあるまち
- ・特になし（21 件）

【中学生回答】回答者 1302 人

○いじめ・差別がないまち 49 件（4%）

- ・いじめや差別がなく安心して過ごせるまち
- ・みんなが平等で住みやすいまち

○犯罪・事故がない治安の良いまち 219 件（17%）

- ・平和で安全なまち
- ・犯罪や事故の少ないまち
- ・交通ルールを守れる人であられるまち

○買い物・交通が便利で発展したまち 268 件（21%）

- ・もっと都会みたいないろんなお店があるまち（ショッピングモール・飲食店等）
- ・交通の便が良いまち
- ・駅周辺をもっと活気のあるまち

○自然豊か・環境にやさしい・きれいなまち 166 件（13%）

- ・自然豊かなまち
- ・環境に配慮したきれいなまち
- ・ポイ捨てがない、ごみが落ちていないまち

○公園・スポーツ施設など遊べる場所やこどもの施設があるまち 80 件（6%）

- ・こどもの遊べる場所が多いまち
- ・広い公園が多いまち
- ・競技場や人工芝のグラウンドのあるまち
- ・バスケットリングやサッカーゴールなど様々なスポーツができるまち

○防災が進んだまち 10 件（1%）

- ・防災対策ができていますまち
- ・南海トラフ地震などの巨大地震の対策などをきちんとしているまち
- ・堤防などをもう少し高くしてほしい

○このままでの良い 30 件（2%）

○安心・いいまち・暮らしやすい・住みやすい・居心地がいい 191 件（15%）

- ・安心して、過ごしやすい（住みやすい）まち
- ・子供にも大人にもどんな人にも優しく、過ごしやすいまち
- ・誰もが楽しく暮らしやすいまち
- ・思いやりのあるまち
- ・和やかで素晴らしいまち
- ・素敵なまち

○明るい・元気・楽しいまち・笑顔で暮らせる、仲良く・協力して暮らせる 218 件（17%）

- ・みんなが明るいまち
- ・みんなが仲良く元気に暮らせるまち
- ・一人一人が楽しいと思えるまち
- ・笑顔があふれるまち
- ・みんなが協力・助け合いのできるまち

○その他 319 件（25%）

- ・こどもに寄り添うまち
- ・こどもの意見を聞いてくれるまち・意見を主張できるまち
- ・今悩んでいることがある子たちが気軽に相談できて悩みを共有できるまち
- ・地域特産の物を使った産業を活かした活気のあるまち
- ・イベントや行事、祭り、地域での活動が盛んなまち
- ・文化などを大切にするまち
- ・子供を育てたいと思える、子育て世帯、こどもを第一にしたまち（給食費無料、子育て支援や学習の保証）
- ・よい教育を受けることができるまち（教育への資金充実、インクルーシブ教育、学校施設の改修など）
- ・挨拶のあるまち
- ・小さい子から大人まで触れ合える場所があるまち
- ・地域の人とのかかわりが多いまち
- ・仕事をしやすいところ、誰でも働けるところ、職業選択の幅があるまち
- ・自分のやりたいことがしたいときにできるまち

- ・新しいことを気軽に始められるまち
- ・道路とか道が整備されている綺麗なまち
- ・遊園地や水族館、観光名所のあるまち
- ・景観の良いまち
- ・自分のまちをもっとPRするまち
- ・特になし（17件）

4 津市ホームページによる令和6年5月末までの期間限定調査

津市こども計画を策定にあたり、どのようなことが大事かを問うもの。

対象は、こども・若者（概ね29歳まで）

期限は令和6年5月1日～5月31日。

アンケートの方法

周知方法は、津市ホームページの新着情報及びバナーの設置、各総合支所、体育館、図書館等へチラシ及びポスター掲示。チラシ及びポスターには、QRコードを記載し、インターネット上のアンケートフォームへ。

意見の概要

年齢等	主な意見
小学生（2件）	・大きな公園が近くにも欲しい。 ・病院があること（学区内に小児科などの病院がない。） ・お友達と安心して遊べる場所があれば良い。 ・暑い時は、放課後に図書館などで17時頃まで過ごせるようにしてほしい ・夏休みや冬休みも空調が効いた学校で友達と過ごしたい ・公園に時計がないので、特定の時間に放送を流してほしい ・学校の防犯体制を強化してほしい ・車がないと移動が困難なので交通の便を良くしてほしい ・図書館以外のところで本を借りれるようにしてほしい。（移動図書館など）そのような制度があるなら周知してほしい ・放課後の居場所を作ってほしい

18 歳～29 歳 (4 件)	・ 保育所に入所できるようにしてもらいたい。 ・ 中高生などが流行情報を摂取できるような環境が身近にあること ・ 公立でのこども食堂の設置 ・ 子育てへの経済的な支援の強化 ・ 効率の良い子育て、子供達が楽しく過ごせるように若者向けの補助金等でサポート
それ以外 (5 件)	・ 積極的な小学校の統廃合 ・ やりがいのある仕事がある ・ 市役所で、子ども服の古着の交換会 ・ グリーンパーク以外の安全に遊べる大きな公園（他市にはもっとある。） ・ 見守りの外部委託など危険な通学路に対する対策 ・ 多子世帯への支援ではなく、1 人目から支援

5 「こども・子育て支援事業計画」に係る郵送依頼でのアンケート調査

こども計画に包含して策定される第3期子ども・子育て支援事業計画策定のため、未就園児及び小学生の保護者へのアンケート調査を R6 年 2 月に郵送で依頼し、回答期限は 2 月 26 日。

未就学児の保護者 3 5 0 0 名、小学生児の保護者 2 5 0 0 名にアンケート用紙を送付し、未就学児 1 9 2 1 名、小学生 1 3 6 9 名、合計 3 2 9 0 名(回答率 54.8%)の保護者から回答。

アンケートの方法

未就園児と小学生の保護者 6,000 名へアンケート調査用紙を送付。アンケートは、返信用封筒で回答するか、QR コードからアンケートフォームへ進み、インターネット上から回答。

回答者 3 2 9 0 名のうち、紙の用紙で回答された方は 1 8 5 4 名（56％）で、インターネットで回答された方は 1 4 3 6 名（44％）。

自由記述による教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見の概要は次のとおり。

意見の概要（インターネットからの回答のみ）

【質問】教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご記入ください。

【未就学児の保護者回答】回答者 451 人

○金銭的な支援 68 件（15%）

- ・育児休暇が両親ともに気軽にとれるよう、経済的な支援、軽減措置などを拡充して欲しい。
- ・児童手当を増やして欲しいです。成長するにつれてお金がかかるのに、なぜ児童手当は減っていくのでしょうか。
- ・教育資金が不安。0 歳児から 3 歳児までも保育料無料にして欲しい。
- ・2 人目の保育料半額を上の子が小学生だとしても適応して欲しい。
- ・一時金などではなく、保育の無償化など長期的な政策を。

○保育所へ入所できる環境 45 件（10%）

- ・時間かけてでもよいです。津の出生数をすべてカバーするほどの保育所の規模があれば共働きの子育て世代の安心感につながります。
- ・最寄りの保育園に通えないことが、現在妻の職場復帰への難点となっている。周囲に親族がいるから大丈夫なのではなく、あくまで自分たちで働き子育てもしていき地域に貢献したいので、最寄りの保育園に可能なら通わせたい。
- ・保育園の応募で久居の保育園を 8 ヶ所希望しましたが全て落ちました。今の保育園には満足していますが、希望通りの保育園に行けるようになるといいと思います。
- ・せっかく育休制度が整っているのに、希望するタイミングで保育園に入れない。

○放課後児童クラブへ入れる環境 20 件（4%）

- ・学童に入りやすいよう整備して欲しい。
- ・上の子が学童に入る事が出来ず祖母が離職しました。(当時学童の選択肢が 1 つしかなくそこが定員オーバーとの事)当時、他の学童は送り迎えをしてくれるなら受入れ可との事でしたが送迎出来る状況であれば学童は必要ありません。
- ・小学校の学童保育も入れないのが現状で 1 年生から自宅で 1 人で留守番させるしかない家庭があります。こんな状況でこの市で子育てするメリットは全くないと思います。
- ・学童保育は希望した場所に入れるようにしてほしい。どこもかしこも抽選で外れて大変だった。

○放課後児童クラブの内容充実 10 件（2%）

- ・利用時間の拡充をして欲しいと思います。
- ・進学予定の学童では、子どもが利用する子どもが多すぎて、施設が狭いです。
- ・学童保育等に入れる予定ですが、小学校低学年の長期休みはどう過ごせば

いいか悩んでいます。金銭面と学童保育の充実があれば子ども 3 人はほしいと思っています。

- 学童保育の運営（設置だけではなく運営）を市で責任を持って進めてください。圧倒的に数が足りない。民営施設を使用するには環境や費用が見合わない。市設の学童を充実させ、保育所のように「認定学童」として、必要な人が公平に使えるようにしてください。学童の運営も、PTA や保護者運営ではなく、名実ともに市営にするか、市設の学童を民間が運営できるような潤沢な補助をしてください。
- 学童の利用が低額で充実されたら、パートからフルタイムへの移行がスムーズで良い。

○子育てしながら働きやすい環境 35 件（8%）

- 産休育休等きちんとした制度を受ける為には大手の会社でないと、しっかり受けられない。誰もが平等に取得できる社会環境になると良いと思う。
- 仕事を休める様に、会社への金銭的、人的支援等の拡充。仕組みの理解、周知を進めて頂きたい。会社へのペナルティ等、必ず休まないといけなような政策、指導の徹底。
- 制度としては整いつつあり、休暇日数としてはきちんと設けられていることはとてもありがたいですが、働く親としては急な休みや連続した休みは職場への迷惑が気になってなかなか取りづらいのが現状です。いろんな職場で、理解がもっとすすむといいなと思います。
- 働きたいのに、働けません。職を選ばなければ 3 人いても出来ると思いますが、子供が熱やけが出した時に預ける人もいないので必ず母の私が休まないといけな環境です。でも働かないと教育、医療、この子達の未来のお金、私たちの年金を考えると小学校を上がるまで専業主婦でいることは無理です。
- 複数子供がいる場合、子供が 3 歳までは両親共に仕事が休めるだけの補助金等の経済的援助、また職場への理解の促進(父親は育児休暇をとるなど言われた。職場の人員不足のため)が今以上に進まないと、合計特殊出生率は増えないと思う。

○こどもの遊び場の整備 59 件（13%）

- 広い公園がない。駐車場がある公園がほとんどなく、市外によく行く。|鈴鹿や松阪に駐車場ありの複合遊具の公園が沢山あり、いつも津市よりいいなぁと思っている。
- 地域に子供が思いきり遊べる公園がない。公園があっても遊具が少ない。散歩するとき車通りの多い道路が多いので危険を感じる。
- 近隣の公園の整備を進めて欲しい。(新しい遊具を導入した公園もあるが、小学生が使うような遊具で小さい子が遊べる遊具がなかったり、トイレが汚かったり、草刈りなどが追いついていない所も多い。)長男が 1 歳半の

時に亀山から転居してきたが、正直小さい子が遊べる公園が少なく、遊び場に困ることが多い。遊具が壊れたままになっていることも多い。安心して遊ばせられない。

- ・久居保健センターやアルスプラザという広い施設も児童館のような遊び場を設置して欲しい。
- ・げいのうわんぱーくみたいなところがあとひとつくらいできたら嬉しい。

○子育て支援の充実 47 件（10%）

- ・病児保育の利用までに時間がかかる。また予約がすぐに埋まってしまうため、利用しにくい。当日でもスムーズに利用できると有難い。
- ・熱田小児科の病児保育をよく利用していましたが、最近週 2 日しか開所しておらず、ただでさえ定員が少ないため利用しにくく困っていたのに、さらに利用できない状態になっており今後大変不安です。むやみに使うつもりは無いですが、仕事が休めないときもあり、週 5 日開所や定員増などをお願いしたいです。
- ・一時保育を気軽にお願いできるようにしてほしい。いつでも預けられたり利用料を安くして欲しい。
- ・幼稚園に入る前の 0～2.3 歳が 1 番サポートが欲しいのにそれが少ない（ほぼ無い）ように思います。一時預かりも電話予約がすぐに埋まったり、認可外のプレスクールは料金が高かったり、ファミサポも登録が必要だったり、ベビーシッターに至って無いに等しい。育児疲れ、親の病気、リフレッシュしたい場合どうしたらいいのですか？

○公平な支援 34 件（8%）

- ・児童福祉医療は収入関係なく支援してほしいと感じています。
- ・子育て支援に関わる施策の所得制限を撤廃していただきたい。
- ・子どもに関する助成で、世帯の所得制限をなくしてもらえると、子育てを応援されている気持ちになる。
- ・児童手当や医療費の助成等において、是非収入制限を撤廃していただきたいと思っています。
- ・価高や社会保険料や子育て支援金など税金が増える中で、非課税世帯の支援ばかりではなく、子供には平等に支援してほしいと思います。

○その他 133 件（29%）

- ・支援センターが幼稚園に通っている子はいれないと言われました。他県から引っ越してきましたが、驚きました。兄弟でも利用できる支援センターにしていただけると利用しやすいと思います。
- ・津市の子育ての取り組みは情報がわかりにくい。発信はしてくれていると思うが、様々な部署があり情報発信が統一されていないように思う。子育て支援のチラシなどをもらってもバラバラに紙でもらう、だからといって

分厚い冊子でもらっても読まない人も多いと思う。発信方法を工夫して欲しい。アプリ、LINE の利用など。ただ媒体を独りよがりにも発信してもチラシと同じことなので、健診の時に保護者に伝えたりダウンロードを呼びかけて適した利用方法を伝えるなどもしってはどうか。

- 子供がもっと気軽に芸術に触れ合える機会を作って欲しい。
- 保育士さんの仕事をみていると、過酷ということがよくわかりました。保育士さんの人数が足りていない園が多いと思います。こんなにも親切に、一生懸命我が子を見ていてくれる先生たちのお給料を上げることはできないのでしょうか。保育士さんが少なくなると困ります。
- 地域の人と触れ合える機会が沢山あると嬉しい。色々な目線で子育てを一緒にしてもらいたい。

【小学生の保護者回答】回答者 236 人

○金銭的な支援 46 件（19%）

- 高校生まで医療費無償化
- 高校(大学)までの学費無償化（補助等）
- 給食費の無償化
- 学童保育、放課後児童クラブの利用補助
- 学習用品等への金銭的補助(物品支給)
- 学童保育の無償化

○保育所へ入所できる環境 4 件（2%）

- 保育園、入園条件の緩和
- 保育時間の拡大

○放課後児童クラブへはいれる環境 22 件（9%）

- 学校併設の放課後学童クラブへの入所
- 放課後児童クラブの拡充(希望するクラブへの入所)

○放課後児童クラブの内容充実 9 件（4%）

- 放課後児童クラブの利用時間の拡大
- 放課後児童クラブの先生の確保や施設の環境改善
- 長期休暇のみの放課後児童クラブの利用

○働きやすい環境 21 件（9%）

- 職場で子育て(こどもの看護休暇等)に理解がない(休みが取れる環境づくり)
- 短時間勤務制度の拡大
- 利用しやすい病児保育にして欲しい。

○こどもの遊び場の整備 18 件（8％）

- ・近所に公園が欲しい、大きい公園が欲しい。
- ・老朽化した遊具の整備
- ・児童館などこどもが気軽にに行ける場所
- ・こどもが自然を体験体感できる場所

○子育て支援の充実 10 件（4％）

- ・子育て世帯への支援、制度の拡充(余裕をもって子育て出来る環境が作れるような)
- ・子育て施策を増やす。
- ・ベビーシッターやファミリーサポート等のサポートがもっと気軽に受けられるような制度が欲しい。

○公平な支援 34 件（14％）

- ・支援の所得制限撤廃
- ・(外部委託等)PTA活動の見直し

○その他 116 件（49％）

- ・地域との交流、地域コミュニティでこどもを見てくれる仕組み
- ・通学路の整備
- ・遅い時間までの保育、また、子どもを預かるボランティアの増加
- ・ひとり親に対し、市や県が積極的に採用していただきたいと思います。
- ・共同親権へ反対
- ・義務教育は少人数制、副担任制度の導入
- ・子育て支援に税金を使ってほしい、今後さらに税額が上がり将来子どもの負担になると不安
- ・保育士、教師の環境(処遇)改善、園や職員の増設、増員
- ・放課後児童クラブの親の負担が大きい
- ・保育士・教員・指導員(学童)の質の向上
- ・発達障害等があるこどもへの対応強化、支援
- ・学校区ごとに児童館
- ・医療費の窓口無料
- ・不登校への支援